

つながりがはぐくむ豊かな暮らし ～誰一人取り残さず、共に創る未来へ～

令和4年度 長岡市市民協働推進審議会

令和5年2月10日（金曜日）午前10時～

1. 新型コロナウイルス禍 3年目の現状
2. 企業連携とSDGsの推進
3. 市民活動団体への支援

1-1 新型コロナウイルス禍 3年目の現状

未来を創る市民活動応援補助金（未来共創補助金）

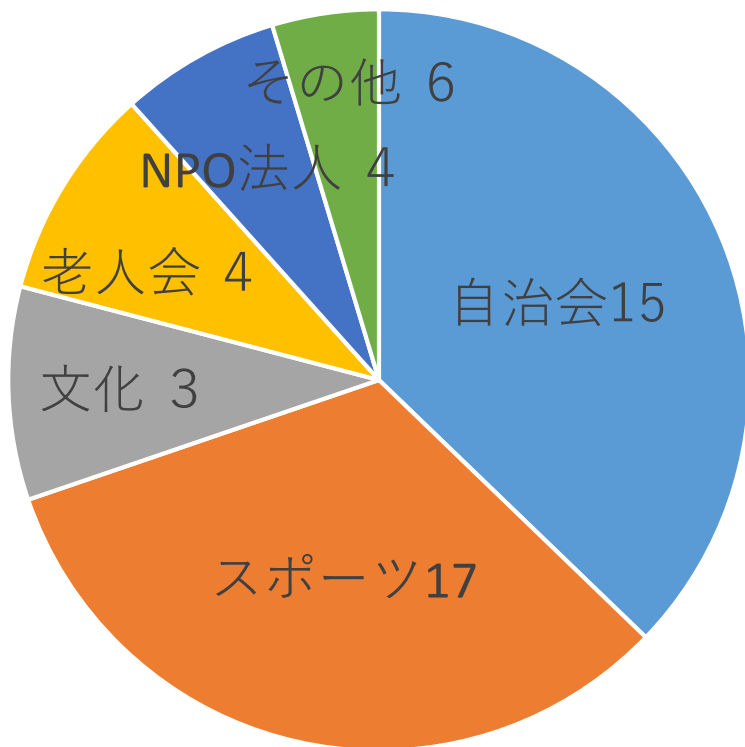
13事業を応援（令和3年度は20事業）

月	申請団体	事業名
3	ひきこもりの子をもつ親の会「すだちの杜」	ひきこもる人をもつ家族の相談場所づくり
4	長岡市茶道文化協会	越後大茶会inアオーレ長岡
4	ひだまりハウス	不登校、行きしぶり親子の会
5	こどもmirai研究会	こどもmirai研究会 第2回全体研修会
5	アフリカンフェスタinながおか実行委員会	アフリカンフェスタ！inながおか 2022
5	長岡Aoshiの守（mori）	悠久山公園音楽祭
6	長岡市サッカー協会	長岡フットサルフェスタ2022
6	ひとのわ・ルナの会	みんなの脳活性化教室の実施回数増加と実施場所拡大事業
7	求草里山再生プロジェクト	求草里山再生プロジェクト
10	つなごー手	～つなごー手特別企画～ちいきで子育て講演会
12	ウィメンズヘルスlab	持続可能な『ベテラン助産師が伝えるプレママサロン』の実施事業
1	ゆるまち委員会	「明日はきっといい天気」プロジェクト
1	声のレッスン～詩を詠んでみませんか～ワークショップ実行委員会	指導者育成事業 声のレッスン～詩を詠んでみませんか～

1-2 新型コロナウイルス禍 3年目の現状

市民活動をささえる補助金

感染症対策物品の購入費補助
補助率50%（上限5万円）
49団体に150万円を交付



新型コロナウイルス感染症対策を行い
安心して市民活動を行うための
物品購入をサポートします

市民活動を ささえる補助金

補助対象となる経費
申請者が立寄する場所を対象とし、令和5年1月31日までに実施する市民活動で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために使用する物品の購入費用は、10,000円未満の経費が対象です。

- 衛生用品
- 防災用品
- 防犯用品

補助金の額
上限 **5** 万円
※補助対象経費の50%

対象となる団体
長岡市の法人以上で、種別は次のとおりです。
NPO法人、社会福祉法人、児童福祉施設、公益財団法人が対象です。
※特別活動・社会活動が活動目的の団体は対象となりません。

申請方法
新型コロナウイルス感染症拡大を考慮し、安全に届付を行うため、**申請書は郵送でお送りください。**

各種相談窓口
☎0258-39-2020
ながおか市民協働センター（メール専用）
受付時間：9:00～18:00（月～金）
※土日、1階の受付には対応していません。

**未来を創る
市民活動応援補助金**
長岡の未来のために、**上限 50** 万円、**公益性のある団体に** 補助を行います。

- 申請対象経費について10万円以内で上限100万円を超えない範囲で補助率50%が適用されます。
- 申請書提出後2週間以内を目処に回答させていただきます。
- 申請書からなる審査員が審査を行います。また、審査の結果、補助金の交付に当たっては、審査員が、申請した市民協働センターホームページ（ウェブサイト）にてお返答いたします。

QRコード

1-3 新型コロナウイルス禍 3年目の現状

ながおか市民活動フェスタ

3年ぶりに対面で開催

日時：10月8日（土曜日）

参加団体：31団体

来場者：2,000人



10/8 10:00~15:00
会場 / アオーレ長岡

入場無料

- ステージ発表 / 歌・ダンス・楽器の演奏など盛りだくさんのプログラムが盛り込まれます。
- アウトドア販売 / おいしい食べ物やアウトドア用品が盛り込まれます。
- 活動体験・PR / 子どもも大人も楽しめる体験型イベントが盛り込まれます。
- 物販販売 / フェスタならではのフェスタならではの品が盛り込まれます。

市民活動フェスタ実行委員会

ながおか市民協働センター
〒951-8511 長岡市中央1丁目4番地10
〒951-8511 長岡市中央1丁目4番地10
TEL: 0258-319-2000 (受付時間) 平日9:00~18:00
FAX: 0258-319-2100
MAIL: festival@nagaoka.jp

QRコード / Facebook

新型コロナウイルス感染症にご注意ください
ご来場は、受付にて検温・手洗い消毒にご協力ください。
・37.5度以上の熱、せき、などの症状が認められる方はご来場をご遠慮ください。
・新型コロナウイルス感染症の発生状況に応じて、ご来場の人数制限や検温・手洗いの徹底など、ご来場の状況に応じて変更いたします。

1-4 新型コロナウイルス禍 3年目の現状

市民協働センター相談件数の推移



現在協働センターに登録されている団体数は432団体。「こんな活動を始めたい」「こんな人を紹介してほしい」という市民からの相談は年々多岐に渡り、年間平均800件ほどの相談が寄せられています。

※データは、2022年4月1日現在のものです。

※2020年度の相談件数には、「新型コロナウイルス感染症にまけない市民活動団体奨励金」に関する相談1,162件を含みます。

1-5 新型コロナウイルス禍 3年目の現状

新たなイノベーション

ウィルス禍によって社会が急激に変化

リモート会議、オンライン配信、SNSでの情報発信等、市民活動団体も活動内容が大きく変容

市民協働センターでも時流に乗った講座を多数開催



2-1 企業連携とSDGsの推進

広報誌でSDGsに取り組む企業を紹介

令和3・4年で16社を紹介

企業名	目標
大口れんこん生産組合	⑧働きがいも 経済成長も
株式会社 原信	④質の高い教育をみんなに
ワタナベグループ ホームクリーニング事業部	⑫つくる責任 つかう責任
株式会社 丸共／クリーンリード	②飢餓をゼロに
株式会社 ナンバ	⑬気候変動に具体的な対策を
いのまたピアノ	⑫つくる責任 つかう責任
緑水工業株式会社	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに
長岡石油株式会社	⑫つくる責任 つかう責任
株式会社 プラントフォーム	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう
株式会社 太陽工機	⑧働きがいも 経済成長も
有限会社ホープイン中沢	⑥安全な水とトイレを世界中に
柳醸造株式会社	⑫つくる責任 つかう責任
公益財団法人 こしじ水と緑の会	⑮陸の豊かさを守ろう
株式会社 パンタレイ	⑦エネルギーをみんなに そしてクリーンに
株式会社 ナレッジライフ 長岡オフィス	⑫つくる責任 つかう責任
ソリマチグループ	②飢餓をゼロに

2 2022 ソリマチグループ
会計でみんなを幸せに



中小企業や農家に向けて会計ソフトの販売や会計事務所業務、経営コンサルティングなどを行っています。「農業王 アグリエーションアワード2022」では、会計ビッグデータを基に、優良経営を実践している農業者を表彰し、その特徴を広く発信することで農業の活性化を支援しています。今後は日本の食料自給率を高めるためにも、表彰制度を通じてSDGs農業の考え方を広めていきたいです。

12 2022 株式会社ナレッジライフ長岡オフィス
(ビュアヴィレッジ長岡)

未来の暮らしを守る家づくり



「人と街と地球にやさしい家」というコンセプトのもと、国産木材と自然素材を使った新築注文住宅を建てているハウスメーカーです。日本の豊かな森林資源を無駄なく活かすため、建築中に出た木の端材をDIYや薪ストーブの焚付材として配布や販売し、売上の一部を環境保全活動に寄付。今後は建設に携わる多くの人とSDGsの理念を共有し、あらゆる業界が同じ考えで協働していくことを目標としています。

7 2022 株式会社 パンタレイ

風の力を操り社会を豊かにする



大学の研究開発成果を社会問題の解決に活かす使命があると感じ、長岡技術科学大学の大学発ベンチャーとして創業。全く新しい原理を用いた小型風力発電の事業などを展開。弊社の風力発電は従来の製品よりもゆっくりに回転しながらも力強いため、安心安全に安定して電気を生成することができます。社会がより豊かになるように、誰もが手軽に風力発電を使える未来を実現したいです。

2-2 企業連携とSDGsの推進

広報誌でSDGsに取り組む市民活動団体を紹介

令和3・4年で17団体の活動を紹介

団体名	目標
特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネット・にいがた	⑩人や国の不平等をなくそう
ひだまりハウス～発達障がい児を支える家族会～	⑩人や国の不平等をなくそう
特定非営利活動法人 越の里山倶楽部	⑮陸の豊かさを守ろう
市民活動団体 WA!!	⑩人や国の不平等をなくそう
長岡おもちゃ病院	⑫つくる責任 つかう責任
ながおか医療生協フィットネスレインボー	③すべての人に健康と福祉を
特定非営利活動法人 Cサポート	④質の高い教育をみんなに
保育サークルたんたん	⑤ジェンダー平等を実現しよう
特定非営利活動法人 なだれ防災技術フォーラム	⑨産業と技術革新の基盤をつくろう
長岡周辺地域女性農業者コミュニティ/nowa	⑤ジェンダー平等を実現しよう
OHIRUGOHAN	②飢餓をゼロに
NPO法人 女のスペース・ながおか	⑤ジェンダー平等を実現しよう
Iris (アイリス)	SDGs全般
量り売りショップ ToRAo (トラオ)	⑫つくる責任 つかう責任
中越市民防災安全士会 シュークリーム	⑪住み続けられるまちづくりを
アルソアサロン	⑭海の豊かさを守ろう
公益財団法人 長岡社	④質の高い教育をみんなに

5 女性の権利
NPO法人女のスペース・ながおか
困難をかええる女性・子どもに寄り添います



女性や子どもの人権確立のため、あらゆる暴力の根絶と女性の自立に向け取り組んでいます。当事者の方からの相談、カウンセリング、裁判・弁護士相談への同行支援、シェルターなど具体的な支援のほか、各種講演、ワークショップを通じた啓発活動も行っています。日々の暮らしの中の小さな出来事からトラブルの芽は育ちます。感じた違和感を大事にさせていただき「あなたご自身を大切にしてください」と呼びかけています。

2 福祉
子どもたちへの愛をお返しに込めて
OHIRUGOHAN



給食がない長期休みに子どもたちが手作りのご飯を食べられるように、川崎地区の小中学生を対象にお昼ご飯を提供。子どもたちの食育のため、地域の食材にこだわったり、お弁当のふたにメニューと食育に関する情報を書いた紙を貼ったりといった工夫をしています。これからも「おいしい」という声をやりがいに、みんながおいしいご飯を食べられる社会を目指して活動していきたいです。

5 女性の権利
女性が輝く農業ネットワーク
長岡周辺地域女性農業者コミュニティ/nowa



女性農業者同士で悩み相談や情報共有をする仲間がほしいと、同じ思いをもったメンバーで2021年3月に団体を設立。イベントを通して、交流の機会づくりや農業と食に対する理解を深める活動を行っています。農業というと男性中心のイメージがあると思いますが、性別に関わらず平等なリーダーシップを発揮できる環境づくりが重要だと感じているので、これからも私たちがしたい仕事で食と農業を広げていきます。

2-3 企業連携とSDGsの推進

補助事業におけるSDGsの取り組み状況

未来共創補助金の申請時に、該当するSDGsの目標を申告してもらった。

13団体中、10団体が次のいずれかを目標として事業を実施している。

1 貧困をなくそう

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

11 住み続けられるまちづくりを



2-4 企業連携とSDGsの推進

企業と市民活動団体のマッチングをSDGsの視点で提案

課題：企業側にメリットを訴求できるか

【市民活動・虎の巻】SDGsを合言葉に企業とマッチング！



どんな取り組みにも課題は付きもの！活動の分野は違えど共通した悩みがあります。
「市民活動・虎の巻」は課題や悩みを研究テーマに沿って解説するノウハウコラムです。

市民活動 虎の巻



研究テーマ SDGsを合言葉に企業とマッチング！

ビジネスの世界でもSDGsが共通言語となっていますが、事業者だけでは「そもそも何をしたいのか」と難しさを感じているところは少なくありません。そこで地域社会を良くしようと取り組んできた市民活動は近年広がるSDGsのビジョンと相性バツグン！市民活動に取り組みの団体と協働することでSDGsに取り組み企業をご紹介します。



2-5 企業連携とSDGsの推進

市民協働センターを介した連携事例

事例 1 企業が災害備蓄品を子ども食堂に寄付

事例 2 若手社員が雪しか祭りの雪像づくりに参加

事例 3 企業が子供のための活動に現金を寄付

○「こんな相談も受けてくれるのか」という反応

○市民団体との関わり方がわからない企業も多い

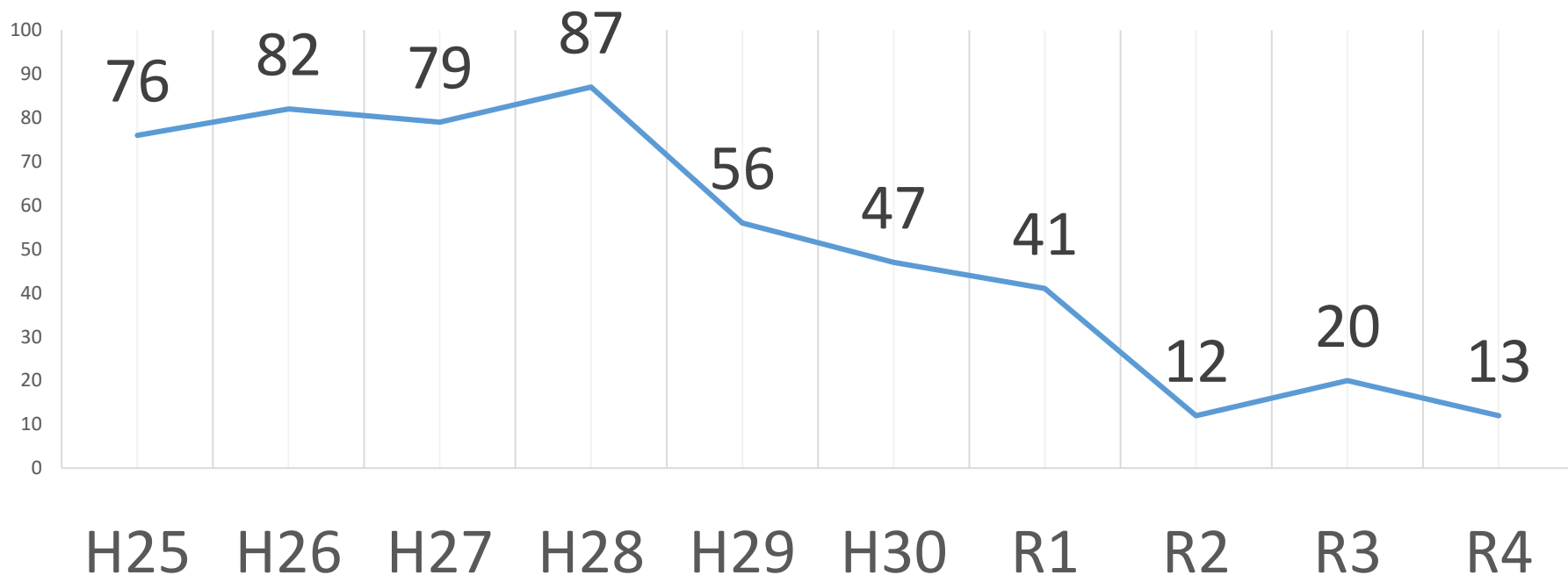
→市民協働センターが企業と市民活動団体のハブとなることで、新たなマッチングの可能性

3-1 市民活動団体への支援

未来共創補助金採択件数の推移

平成28年度をピークとして減少傾向

新型コロナウイルス感染症の流行後はイベント関係の事業が激減



3-2 市民活動団体への支援

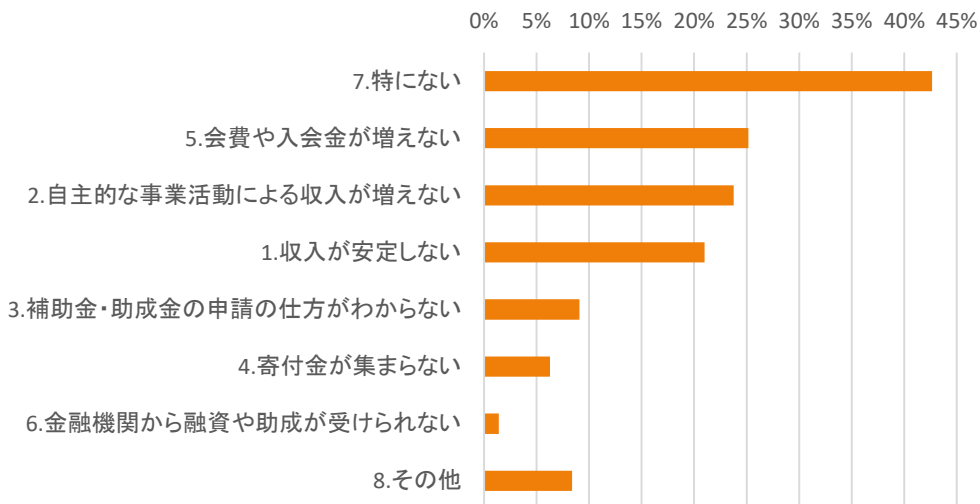
市民活動団体へのアンケート（平成29年実施）

市民活動団体の6割は年間予算が50万円未満

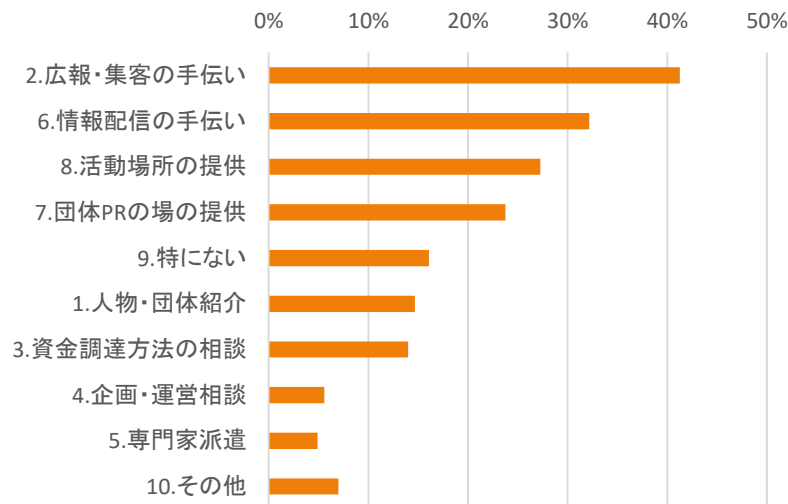
資金面での課題は4割以上が「特にない」と回答

広報・集客・情報発信に関するニーズが高い

活動資金に関する課題(一般団体)



欲しい支援(一般団体)



3-3 市民活動団体への支援

最近の市民活動団体の動き

- 以前はイベントに関する相談が多かったが、コロナ禍以降リモート会議をはじめとしたオンライン化に関する相談が増加している。
- メンバーの入れ替わりがなく、高齢化が進んでいる団体はオンラインについていけない団体も多く、活動が停滞傾向にある。
- 最近では感染症との付き合い方に慣れてきた団体も多く、徐々に活動に元気が出てきている。現在の環境下で今できることをやろうとする姿勢が感じられる。

3-4 市民活動団体への支援

市民協働センターの存在

- ホームページやSNSといったWeb経由で協働センターでできることを知る人が多い。「こんなことまで相談できるのか」という声が増えてきている。
- 10年前は、協働センター側から団体に声をかけてコミュニケーションをとっていたが、年々団体側から相談を持ち掛けられるようになってきた。



つながりがはぐくむ豊かな暮らし ～誰一人取り残さず、共に創る未来へ～

